

大分合同新聞

2022年(令和4年)2月4日(金曜日)

上演の益金を 中津市に寄付

演劇「玄朴と長英」

【中津】幕末の蘭学者、

伊東玄朴と高野長英を描いた演劇「玄朴と長英」(昨年12月、中津市の中津文化会館)の実行委員会(木村通会長)は1月27日、上演による益金の一部60万円を市に寄付した。

コロナ禍で2度の延期を余儀なくされた末、当初の予定から1年半後に実現した。

木村会長や蘭学関係の資料を市教委に提供している医師の川島真人さんらが市

役所を訪れ、奥塚正典市長に寄付金を手渡した。市が進めている蘭学の里づくりを活用される。

奥塚市長は「演劇で蘭学の歴史の一端に触れられ、

興味深かった。蘭学や洋学の歴史が縁で岡山県津山市、島根県津和野町と三津同盟を結び、交流の取り組みなども進めている。有効に使わせていただく」と礼を述べた。

(安東公綱)



「玄朴と長英」上演の益金を中津市に寄付した実行委メンバーら